

第2期鎌倉市子ども・子育てきらきらプランにおける  
保育事業の量の見込みと確保方策について

1. 趣旨

2020年度から施行される第2期鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン（以下「次期計画」という。）における、保育事業の量の見込み（以下「ニーズ」という。）については、そのニーズを把握するために、2018年12月にアンケート調査を行ったところであるが、その結果が実態のニーズと乖離が生じていたため、数値の精査を行う旨、2019年10月16日に開催した子ども・子育て会議において報告したところである。

今回、精査を行い数値の補正を行ったため、その旨報告するとともに、当該ニーズに対する確保方策の方向性について報告するもの。

2. 保育事業の量の見込みについて

(1) 0歳児のニーズについて

2019年4月1日時点の0歳児の入所申込み児童数は全市で192人であった。一方、アンケート調査に基づく2020年4月のニーズは、全市で335人であり、実態を大きく上回るニーズとなった。

これは、アンケート調査上では、現在育児休業中の方も0歳児のニーズとしてカウントされる一方で、実態として1歳児まで育児休業をとる保護者は0歳時点で申込みは行わないことによる差である。

そのため、アンケート調査上の項目で「就業中の保護者の職場復帰の時期が1歳以降」となっている0歳児のニーズについて減じる補正を行った。なお、当該減じたニーズについては、後述の「1・2歳児のニーズ」に上乗せすることとしている。

補正後の0歳児ニーズの五年間の数値については表1のとおりである。

(表1) 3号認定（0歳児）のニーズ

	(参考) 2019年度	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
ニーズ	192	264	257	257	253	249
鎌倉	48	90	87	87	86	84
腰越	15	12	12	12	12	11
深沢	23	60	58	58	57	57
大船	76	64	63	63	62	62
玉縄	30	38	37	37	36	35

(2) 3号認定（1・2歳児）のニーズについて

2019年4月1日時点の1・2歳児の入所申込み児童数は全市で1,045人であった。一方、アンケート調査に基づく2020年4月のニーズは、全市で985人であり実態を下回るニーズとなった。

近年の待機状況の推移を鑑みるに、1年間でニーズが減少することは考えにくいいため、前述の0歳児で減じた「就業中の保護者の職場復帰の時期が1歳以降」のニーズを上乗せする補正を行った。

補正後の1・2歳児ニーズの五年間の数値については表2のとおりである。

(表2) 1・2歳児のニーズ

	(参考) 2019年度	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
ニーズ	1,045	1,117	1,137	1,121	1,106	1,094
鎌倉	205	251	256	250	245	241
腰越	109	72	73	71	70	68
深沢	260	234	241	239	235	233
大船	335	350	354	350	348	346
玉縄	120	210	213	211	208	206

## (3) 2号認定(3歳以上児)のニーズについて

2019年4月1日時点の3歳以上児の入所申込み児童数は全市で1,517人であった。一方、アンケート調査に基づく2020年4月のニーズは、全市で1,301人であり、実態を下回るニーズとなった。

1・2歳児と同様に、1年間でニーズが減少することは考えにくいため、教育事業のニーズとして捉える2号認定児(教育)の一部を上乗せする補正を行うこととした。

2号認定児(教育)については、アンケート調査において保育所を利用できる家庭類型(フルタイム×フルタイムやフルタイム×パートタイム)のうち、教育事業を希望するものである。各幼稚園等においては、教育時間後や長期休業中の預かり保育の充実が行われているところであるが、フルタイム×フルタイムの保護者は常態的に保育を必要とすることが想定されるため、保育ニーズとして受け止めるべき数値と判断した。

補正後の3歳児以上のニーズの五年間の数値については表3のとおりである。

(表3) 3歳以上児のニーズ

	(参考) 2019年度	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
ニーズ	1,517	1,556	1,545	1,521	1,504	1,489
鎌倉	412	418	413	405	398	393
腰越	153	132	131	127	126	125
深沢	296	305	305	298	297	293
大船	492	489	485	482	477	474
玉縄	164	212	211	209	206	204

### 3. 2021年度のニーズと2020年度時点の保育の提供体制について

次期計画におけるニーズについては、2019年4月23日付の国事務連絡において、2020年度末までに提供体制の確保（2021年度当初に提供体制が整う）が求められているところである。

そのため、今後の必要数を把握するため、2020年度中に開所する施設も含めた確保方策と2021年度のニーズを比較したものが、表4であり、全市で見ると、1・2歳児に137人の不足が出る見込みとなっている。

（表4）2021年度のニーズと2020年度時点の保育の提供体制の比較

鎌倉地域	2021年度 量の見込み a	2020年度 定員数 b	2019年度 地域流動 c	差 (b+c-a)
2号認定(3歳以上)	413	333	93	13
3号認定	1・2歳	256	213	▲6
	0歳	87	61	▲17
合計	756	607	139	-

腰越地域	2021年度 量の見込み a	2020年度 定員数 b	2019年度 地域流動 c	差 (b+c-a)
2号認定(3歳以上)	131	107	42	18
3号認定	1・2歳	73	99	15
	0歳	12	13	5
合計	216	219	62	-

深沢地域	2021年度 量の見込み a	2020年度 定員数 b	2019年度 地域流動 c	差 (b+c-a)
2号認定(3歳以上)	305	425	▲81	39
3号認定	1・2歳	241	▲50	▲60
	0歳	58	▲15	1
合計	604	730	▲146	-

大船地域	2021年度 量の見込み a	2020年度 定員数 b	2019年度 地域流動 c	差 (b+c-a)
2号認定(3歳以上)	485	563	▲45	33
3号認定	1・2歳	354	340	0
	0歳	63	102	▲1
合計	902	1,005	▲46	-

玉縄地域	2021年度 量の見込み a	2020年度 定員数 b	2019年度 地域流動 c	差 (b+c-a)
2号認定(3歳以上)	211	206	▲9	14
3号認定	1・2歳	213	▲2	▲98
	0歳	37	36	2
合計	461	359	▲9	-

全市	2021年度 量の見込み a	2020年度 定員数 b	2019年度 地域流動 c	差 (b+c-a)
2号認定(3歳以上)	1,545	1,634	-	89
3号認定	1・2歳	1,137	1,000	-
	0歳	257	286	-
合計	2,939	2,920	-	-

※地域流動とは、鎌倉地域に住居登録を行っている者が、深沢地域の施設に入所した場合など、地域間における流動性を反映したもので、正の数の場合、その地域に他の地域から入所している児童より、その地域から他の地域に入所している人数が多いことを示す。

### 4. 今後の確保方策の方向性

表4で示したとおり、2020年度時点での定員と2021年度のニーズを比較すると、地域差はあるものの、全市で見ると1・2歳児に137人の不足が生じる見込みとなっている。

確保方策については各施設の定員を積み上げたものを記載しているが、実態として各保育施設においては、定員を超えた弾力的な受け入れを行っていただいているところであり、1・2歳児の不足に合わせて新たに保育所を整備した場合、特に3歳以上児の定員において過剰な整備となる可能性がある。

そのため、今後の整備の方針としては、既存園の建替えに際しての定員増を中心とし、新規に整備する場合にあっては、駅付近などの交通利便性が高く全市のニーズを受け止められる場所での整備を行っていく。